

「一致協力」

ご承知の通り、体育館の改修工事が始まっています。まずはこのことについて少し触れたいと思います。今日もこの視聴覚室から教室にいる皆さんに向けて、オンラインでお話をしておりますが、来年2月までの長期間にわたり、このような式や部活動などで体育館が利用できない状況が続きます。皆さんにとって大きな変化だったと思います。特に、体育館を利用する部活動の皆さんが、代替施設へ移動し利用しながら教育活動が継続できているのは、引率をしてきている顧問の先生方をはじめ、保護者の皆様や同窓会、そして施設を提供してくださっている関係機関のご支援とご協力があるからこそであります。私たちは深く感謝をしなければなりません。ぜひ、皆さん一人ひとりが、行動で示してほしいと思います。施設を大切に使うことはもちろん、使用後の後片付けをきちんと行うこと、そして関係者の方々への、お礼のあいさつを欠かさないことが、気持ちを伝える最適な方法だと思います。来年度もぜひ感謝の心を持ちながら、みんなで協力して教育活動を進めていきましょう。

また、来年度は、皆さんにとって念願の全校生徒による「体育祭」が12月に開催される予定です。先日行われました、球技大会における「体育祭的行事」では、生徒会本部役員の皆さんが企画運営し、2年6組の皆さんと、部活動の皆さんの全面的な運営協力のお陰で、体育祭を最後まで盛り上げていただきました。何より参加した生徒の皆さんが、賛同して協力していただいたからこそその成果だったと私は思います。来年度は、新たに発足する「体育祭実行委員」の皆さんが中心になって、準備企画運営まで計画的に進めていただくこととなりますが皆さんならきっとできます。大いに期待しています。また、本校では、他にも、「陸上競技大会」や「山高祭」そして「球技大会」に「マラソン大会」まで行っています。改めて思い返してみると、これらの行事で大切なのは、「一致協力」の精神です。それぞれの行事では、個人の力を発揮する場面もありますが、仲間と力を合わせることで互いに支え合うことがその成功には欠かせません。今年度、皆さんがこれらの行事を通じて感じた「一致協力」の大切さを、来年度もあらゆる場面で発揮してほしいと思います。

さて、話は変わりますが、世界では今、この瞬間も様々なことが起きています。戦争や紛争、サイバー攻撃、温暖化による自然災害など地球規模で多くのニュースが流れてきます。生成AIの技術革新や社会構造の変化など、世の中の進化も激しいスピードで動いています。明日何が起こっても不思議でない予測不可能な時代になってきています。だからこそ、普段から想定外を想定して準備して行動していくことは、とても大切なことだと思います。

そして今日は、皆さんに「幸せの段階」についても、少しお話します。幸せには、3つの段階があると言われています。第1段階目は、「してもらえる幸せ」です。赤ちゃんがお母さんにミルクをもらう、抱っこしてもらう、遊んでもらう、ニコニコ笑い、幸せになります。幼い年齢の頃は、周囲の人に何かをしてもらうことで、幸せを感じます。第2段階目は、「できる幸せ」です。初めて自転車に乗れた、縄跳びで二十跳びができた、試験に合格したなど、自分の力で成功した時の感動や幸せは、誰にもあると思います。そして、第3段階目は、「してあげる幸せ」です。誰かのために何かをしてあげることで、幸せを感じることがあります。これが人間にできる究極の幸福観であると同時に、誰かのためや、社会のために貢献しようとする行為そのものが、自分自身の成長や幸せな人生に繋がるのだと思います。そのために皆さんは、若い時期、特に高校生の時に、自分ができること、してあげられることの行為や経験を増やしていくことが大切です。将来、人のため、社会のためになる仕事に就くことができたらとても幸せな人生につながるのではないのでしょうか。そして、何より本校には、「着実に努力」という校訓があります。一生懸命に、夢に向かって努力を積み重ね、積極的に取り組む3年間にするか、いつも受け身で流されて過ごす日々にするか、皆さんの考え次第で得るものが全く違ってきます。生き方も違って来るかもしれません。是非、皆さんは、何があっても、まず自分で考え、適切に判断し主体的に行動する高校生活を送ってほしいと思います。年度の節目のこの時こそ、今一度自分のこれまでの生活を振り返り、この一年で何ができるようになったのか目指す夢にどのあたりまで近づいているかを自分自身に問いかけてみてください。

最後になりますが、来月の4月6日月曜日の始業式では、新2年生、新3年生として、皆さんと元気な姿で会えることを、楽しみにしています。最初が肝心です。スタートからしっかりした高校生活が送れるよう、この春休みのうちに、基本的な生活習慣を身に付けて、心と体の準備をしっかり整えておきましょう。

令和7年度の皆さんの頑張りを讃えるとともに、新年度の皆さんの益々の活躍と幸せを願って、私からのことばといたします。